6.3 地域の公共交通×脱炭素化移行促進事業のうち、交通システムの省CO_2化に向けた設備整備事業／LRT・BRT導入利用促進事業

①連節バス導入による自家用車から公共交通への利用転換による排ガスの低減

三岐鉄道株式会社（三重県四日市市／運輸業、郵便業）

【HP】 https://sangirail.co.jp

赤文字：該当箇所 ｜ 灰色文字：該当外

補助事業の紹介

補助事業名	地域の公共交通×脱炭素化移行促進事業のうち、交通システムの省CO_2化に向けた設備整備事業
補助事業の概要	① グリーンスローモビリティの導入調査・促進事業 ② 交通システムの省CO_2化に向けた設備整備事業
実施目的	グリーンスローモビリティやLRT・BRT、省エネ鉄道車両などを地域の公共交通へ導入するとともに、利用するエネルギーとして再生可能エネルギーの積極利用を促すことで、2050年カーボンニュートラルに資する地域の脱炭素交通モデルを構築する。
交付対象	民間事業者・団体等 ｜ 地方公共団体
補助率	① 車両新造：補助対象経費の1/2以下 ② 省エネ設備導入：補助対象経費の1/2以下 ③ 回生電力設備の導入：補助対象経費の1/2、1/3、1/4以下 ④ LRT・BRT：補助対象経費の1/2

①連節バス導入による自家用車から公共交通への利用転換による排ガスの低減

事業の概要

補助金額	補助金額	約5,582万円
	補助率	1/2
導入設備	従前設備	一般バス
	導入設備	連節バス
事業期間	稼働日	2025年4月
備考	導入台数	1両



さんぎサンサンシャトル

事業の効果

エネルギーコスト※
▲約885（万円／年）

CO_2削減効果
約120（t-CO_2／年）

投資回収年数
7（年）→ **4**（年）

CO_2削減コスト
約19（万円／t-CO_2）

副次的効果
- **輸送力強化により乗務員・運転士の労働環境の見直しを実現**
- **公共交通への利用転換による排気ガスの低減**
- **通勤時の渋滞緩和及び積み残しの解消**

※ エネルギーコストは、軽油単価：154,3円／L（出典：資源エネルギー庁）を用い、一般バスとの比較により試算。

事業者の声



ご担当者｜三岐鉄道株式会社

- 三岐鉄道株式会社では、環境問題への取組の一環として、また輸送力の強化や地域の渋滞緩和、企業における駐車場不足や運転手不足といった課題への対応を目的に、連節バスを導入いたしました。通常の車両と比べると高価ではありますが、通勤・通学が集中する時間帯において輸送力を大幅に強化できる点が、導入の大きな決め手となりました。
- 連節バスを導入したことで輸送効率が向上し、乗務員の労働環境改善につながったほか、渋滞の緩和や積み残しの減少といったサービス向上も実感しております。その結果、公共交通への利用転換がより一層促進され、排ガス低減にも寄与できるものと考えております。
- 利用者の皆さまからは増便を望む声もいただいておりますので、今後は関係各所と連携しながら、こうしたご要望に基づいた運用を行ってまいりたいと考えております。